

SAIKAI

— 境町のイマ・ミライを伝える広報紙 —

熊本復興支援チャリティゴルフ大会

「届けたい想い」

プロゴルファー・2008年賞金女王

古閑美保

2016

9

No.596

茨城県境町
広報さかい



ふるさと熊本のためにチャリティに参加

古閑美保

「熊本は私にとって特別な場所。少しでも熊本の皆さんの力になれるよう私に出来ることを精一杯頑張ります。」

境町×古閑美保

SAKAI TOWN×MIHOKOGA

7月29日(金)、大利根カントリークラブ(坂東市)において、一般社団法人境青年会議所主催の「熊本地震支援チャリティゴルフ大会」が開催されました。大会は、開催趣旨に賛同した熊本出身のプロゴルファーで、2008年賞金女王にも輝いた古閑美保プロ、佐藤のぞみプロをゲストに迎え、境町、坂東市などから47組175名の方が参加し、開催されました。

当日は、チャリティ企画として、古閑プロ、佐藤プロとのニアピン勝負が行われ、参加者の皆さんはプロゴルファーとの真剣勝負を楽しみながらチャリティを行いました。

また、大会後のパーティーでは、古閑プロを始めとする女子プロゴルファーの皆さんのサイン入りグッズなどのチャリティオークションも開催され、出品された商品全てが落札されました。

この大会を通して、チャリティとして合計61万3,671円の支援金が集まり、8月10日(水)、橋本町長、古閑美保さんの手によって、熊本県の蒲島知事及び熊本市の大西市長へふるさと納税代理受付によって集まった支援金等とともに届けられました。



写真右から渡辺副議長、倉持議長、古閑さん、橋本町長、アントキノ猪木さん



参加者へのサインに気さくに応じる古閑さん



古閑さんのサイン入りゴルフバッグを落札した中山さん(坂東市)

FOR KUMAMOTO ふるさと熊本へ 届けたい想い

本日は熊本地震復興支援のチャリティゴルフ大会ということで、多くの方にご参加いただきまして本当にありがとうございます。

熊本地震の時は、私も「KKT杯バンテリンドレディスオープン」の解説で熊本にいたので、震度7の地震を1回目、2回目ともに経験しました。

また、益城町というのがよくテレビで報道されていると思うんですが、益城町は私の実家から10分くらいのことなので、私の実家も半壊の被害を受けました。現在、熊本の人達の間では、「全壊さえしていなかったら、ある程度

大丈夫」というような状況になっています。

熊本では今もまだ、震度3程度の余震がほとんど毎日のようにあります。まだ家に帰れない人もたくさんいらっしゃいますし、今やっと仮設住宅が1万5千戸くらい出来てきているのですが、まだ1万人弱の方々が、怖くて体育館で過ごされたりしていると聞いています。

また、地震の後に大雨による水害もあり、本当にいろんな事が重なったのですが、現在、熊本は何か復興へ向けて歩き始めているような状況です。

そんな中で、私に出来るのは、やはりゴルフを通じた支援だと考え、今回このようなチャリティゴルフ大会を開催させていだいて、大変感謝しています。大会で行ったのは、私とニアピン勝負

をするというチャリティだったのですが、ほとんどの方に負けていただいて、チャリティに協力していただきました。また、中には私よりも本場にピンの近くにつけて、勝負に勝った方もいたのですが、負けた方と同じようにチャリティをしていただけ、これだけたくさんの方の支援金を集めることができました。本当にありがとうございます。

今日集まった支援金は責任をもって熊本へ届けさせていただきます。また、私と同じ気持ちで今日来てくれた佐藤プロや、ほかの女子プロのみんなも熊本の復興へ向けて、様々な活動を行っていますので、今後とも宜しくお願いたします。本日はありがとうございました。



古閑美保 プロフィール

熊本生まれ。ゴルフは小学5年生の頃から始め、2001年にプロテスト一発合格を果たし、2003年「ヨネックスレディースゴルフトーナメント」で初優勝、2008年はツアー4勝で初の賞金女王に輝く！2011年にツアープロを引退し、現在はゴルフのラウンド解説や数多くのバラエティ番組に出演するなど、ゴルフ以外にも様々な活動が期待される。

熊本地震を風化させないために 境町の支援はまだまだ続きます!!

ふるさと納税代理受付による支援

被災した熊本県に代わり、全国に先駆けてふるさと納税での支援金の代理受付、事務手続きの代行業務を行い、4月16日から30日までの15日間で、約1億1,000万円の支援金を集めました。

また、境町の取り組みが波及し、その後46の自治体がふるさと納税での代理受付を行い、全国から約14億円以上の支援金が集まっています。



▲境町の取組は多くのメディアで取り上げられました

チャリティーゴルフ大会の開催



熊本県出身のプロゴルファー古閑美保さんをゲストへ迎え、47組175名の参加のもと、チャリティーゴルフ大会を開催しました。

古閑プロのサイン入りグッズなどのチャリティーオークションも行われ、参加者の皆さんから多くの支援金が集まりました。

「ふるさと納税」や「道の駅さかい」で熊本県の商品を活用



▲ふるさと納税の返礼品として熊本産の馬刺しやお米を活用



▲道の駅さかいでは熊本産のお菓子を販売

熊本産の馬刺しや、熊本産のお米などを境町のふるさと納税の返礼品として活用しています。また、道の駅さかいにおいても、熊本応援フェアとしてブースを設け、熊本産のお菓子などの販売を行っています。

熊本市への災害対応職員の派遣

9月26日から30日の5日間、熊本市商業金融課へ5名の境町役場職員を派遣し、被災した事業所の建物被害調査業務などを行い熊本市を支援します。



◀境町役場税務課 小野 博章 係長
「熊本市の迅速な復旧・復興へ向けて少しでも皆さんのお力になれるよう精一杯頑張ってきます。」



▲町長への出発報告の様子



今回の熊本地震でも特に被害の大きかった益城町(8月9日撮影)
住宅街にも未だ地震の爪痕が色濃く残っています。

熊本復興支援

1億1,180万円を熊本県へ



▲蒲島都夫熊本県知事(写真右)へ目録を手渡す橋本町長(写真左)と古閑美保さん(写真中央)



被災地熊本へ
支援金を届けました!!

境町では、熊本復興支援として、様々な支援活動を行っています。そんな取り組みの一端をご紹介します。

RAPID RECOVERY
迅速な復興へ向けて
継続した支援を

8月10日(水)、熊本県庁において、熊本県へのふるさと納税の代理受付や、古閑美保さんをゲストに迎えたチャリティーゴルフ大会等を通して集まった支援金、1億1,180万円を橋本町長、古閑美保さんらが、蒲島熊本県知事へ届けました。

現在、熊本県の災害復興は始まったばかりで、迅速な復興へ向けての今後の課題は、時間経過によるボランティアの減少や、他のニュースなどによって熊本地震が風化してしまいうことです。

境町では、熊本地震を風化させないためにも、継続的な支援が大切だと考え、今回届けた支援金以外にも、ふるさと納税の返礼品や道の駅さかいにおいて、熊本産の商品を活用したり、熊本市へ災害対応職員5名を派遣するなど、様々な角度から継続的な支援を行っています。



役場職員に質問する高校生たち



役場職員を交えたオリエンテーションの様子



参加者と審査員の皆さんで記念撮影



境町高校生まちづくりアイデアソン
2016年8月16日(火)~17日(水)



最終プレゼンには約50名の観覧者が集まりました

最終プレゼンを行う「チーム科学部」



河川敷での聞き取り調査



アイデアを練るため実際に利根川を視察



最終プレゼンを行う「チーム三和」の皆さん



最終プレゼンを行う「チーム高校生会」



歴史民俗資料館で歴史を学ぶ高校生たち



夜遅くまで話し合いは続きました

「高校生のアイデアでまちを活性化!!」

境町高校生まちづくりアイデアソン

利根川河川敷を境町の自慢に！
『こんな河川敷だったら楽しいな。を実現するプランを考えよう！』を課題に、高校生たちが真剣に考え抜いたアイデアは大人も目を見張るものばかりでした。



境町高校生まちづくりアイデアソン
はなわよしのり
実行委員会 委員長 堀佳憲

8月17日、境町が抱える課題や地域活性化について高校生が政策立案を行うコンテスト「境町高校生まちづくりアイデアソン」の発表会が境町役場4階会議室で開催されました。
このコンテストは、4月から境町参与を務める慶應大学1年の増佳恵さんが企画し、「町内を流れる利根川の河川敷を町の自慢にするアイデア」について、境町高校生及び境町在住の高校生、町と包括的な連携に関する協定を結んでいる麗澤高校(千葉県)の生徒6チーム22人が参加し、16日から1泊2日の合宿を行い、遊び心いっぱいのアイデアを練り上げました。最終発表会では、集まった約50人の町民の前でパワーポイントを使用して、プレゼンテーションを行いました。
参加した各チームには、大学生のメンター(指導者・助言者)が付き、高校生の自由な発想を生かしながらも、アイデアを実現するために必要なデータ収集や、独自性などについて助言するなど、協力してアイデアを固めていきました。
最優秀賞に選ばれたのは、利根川の水面に境町と利根川の歴史をプロジェクトションマッピング(デジタル映像を建物などに投影すること)で映し出すというプラン。境町3年の女子生徒4人の「チーム三和」による提案で、歴史民俗資料館で調べた、古くは河岸のまちとして栄え、様々な物資を舟で運搬した利根川の歴史を土台にプランを練り上げました。映像の投影後にはスカイランタンで幻想的な景観を演出し、実現する資金としては、ふるさと納税の寄付金やクラウドファンディング(インターネットを通じて資金の出資や協力を募ること)での資金募集を見込んでいました。
このほか、優秀賞として、利根川河川敷にドッグランを作る提案や、人が入れる球体「ウォーターバルーン」で夏に川をさかのぼるレースなどのプランが提案されました。
審査した橋本町長は「提案されたプランはすべて検討し、良いものは実施していきたい。こういった提案から少しでも境町のまちづくりに興味を持ってもらい、自分たちの提案でまちは動くんぞというところを実感してもらいたい」と述べました。
企画した増佳恵は「それぞれの問題意識やアイデアからアプローチする、多様なプランが提案され、高校生に境町を考えてもらうきっかけになったと思います。今後は、町の全面的な協力を生かして、高校生の提案を出来る限り実現させていきたいです。」と話しました。

高校生が本気で境町のことを考えました

「高校生らしい自由な発想で遊び心溢れるアイデアが出揃いました！」

教育長特別賞 くるみぽんチーム



「他にはない自分たちだけのアピール力」

写真左から田中さん、岩田さん、鈴木さん、藤木さん

「プロジェクト桃太郎」

桃太郎の話の中にあっただおじいさんとおばあさんになりきり、河川敷を使って芝刈りと洗濯をゲーム形式で行うプラン。チームメンバー自らが、河川敷で一番やりたいアクティビティを考え、自分たちが楽しめることに加えて、利根川が汚いことを問題視し、洗濯時には凝集剤を洗濯洗剤の代わりに使用して水質浄化も併せて出来るように考えられている。



【高校生・大学生メンター感想】

- ◎鈴木 弥来 (境高校1年)
境町について考える時間ができて良かったです。住んでいても知らないことがたくさんあると感じました。
- ◎藤木 彩 (境高校1年)
とても楽しく有意義な時間を過ごすことができました。また機会があれば是非参加したいです。
- ◎岩田 啓吾 (境高校3年)
自分たちがやりたいことを本気でぶつけば相手に伝わるんだなと思いました。自分の得意なダンスなどの面白さでアピールし、賞が取れて驚きました。
- ◎田中 優 (境高校3年)
他のチームにないダンスで勝負しました。竹部さんがダンスを押ししてくれて、自分たちはエンターテイメント性を重視してきている人を楽しませよう頑張りました。いつかはメンター側として関わってみたいです。
- ◎齋藤 有 (慶應大学1年)
存在しなかった賞を作った彼らが本当にすごいと思います。彼らとの出会いに感謝したいと思います。自分がやっているラジオ番組に呼ぶなど今後も何かの形で関わっていけたらと思います。

【その他のプラン・参加チーム】

チーム科学部「水の楽園」

- 利根川でウォーターボールを使ったイベントを行うプラン。
- ◎高校生：鮎川 敦子 (境高校3年)、忍田 奈津子 (境高校3年)、青木 涼太 (境高校3年)、青木 祐里 (境高校3年)
 - ◎大学生メンター：河合 琢斗 (慶應大学1年)

チーム麗澤「炎と水の祭典」

- 河川敷で水鉄砲大会を開催するプラン。
- ◎高校生：大上 達也 (麗澤高校5年)、加藤 芽生 (麗澤高校5年)、鳥澤 洋子 (麗澤高校5年)、豊田 来楓 (麗澤高校5年)
 - ◎大学生メンター：大井 健史 (筑波大学3年)

チームSKS「休日を過ごしたい境町の河川敷～スポーツとマーケット～」

- 河川敷にフットサルコートなどをつくりみんなの遊び場にするプラン。
- ◎高校生：桜井 謙斗 (境高校2年)、小島 辰哉 (境高校2年)、関 朋希 (境高校2年)
 - ◎大学生メンター：光田 有希 (Westminster School 4年)

高校生たちのプレゼンテーションの様子が動画で見れます!!
右記のQRコードを読み取ってご覧ください。→



「女子ならではの夢あふれるアイデア力」

写真左から橋本町長、小嶋さん、高木さん、小倉さん、飯村さん、村山さん

【高校生・大学生メンター感想】

- ◎飯村 梨奈 (境高校3年)
メンターの方などいろいろな人たちの力を借りて、私たちの企画が最優秀賞を取れてとても嬉しいです。
- ◎小倉 彩花 (境高校3年)
初めての参加でしたが、いろんな人に助けていただいてこんな素晴らしい賞が取れて良かったです。
- ◎小嶋 泉 (境高校3年)
初めての挑戦は楽しくもあり、夜中までの作業など大変なこともありましたが、4人で賞が取れて良かったです。
- ◎高木 萌那 (境高校3年)
高校生でも実現可能なプランを考えられたことが良かったです。ランタンを飛ばしたいという思いから、アイデアが膨らみ、この4人だからこそできたものだと思います。機会があればまた参加したいです。
- ◎村山 史佳 (慶應大学1年)
最初は不安な点も多かったのですがアドバイスをしていくうちに、彼女達のやる気が高まって、「やってて楽しい！」というみんなの声を聞いて、彼女たちが心から楽しんでやっていたことが本当に何より嬉しかったです。



「メンターとの息の合ったチーム力」

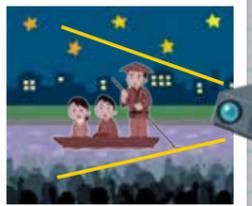
写真左から橋本町長、並木さん、福島さん、大瀧さん

【高校生・大学生メンター感想】

- ◎福島 那々美 (坂東総合高校2年)
不安なところもありましたが、優秀賞を取れて良かったです。自分たちに無い発想やプレゼンの仕方をメンターの方に教えていただき、このアイデアソンで仲良くなれました。
- ◎並木 士 (古河第三高校2年)
今回のアイデアソンで企画の難しさと楽しさを知りました。良い賞をもらえて、とても良かったです。
- ◎大瀧 聡之介 (慶應大学1年)
自分が見る側に立って気づくことがとても多く、勉強になりました。なるべく自分たちで考えてもらうことを重視しました。当日急遽2人になってしまい、少人数の中、本当によく頑張っていました。自分たちのチームが一番仲良くなれたと思います！

「Appreciation ～利根川の繁栄に～」

利根川にプロジェクションマッピングで境町と利根川の歴史を上映するプラン。利根川を生かした水運が繁栄していたことが忘れ去られていることを問題意識とし、プロジェクションマッピングで利根川の水面に境町と利根川の歴史の映像を上映することとスカイランタンで幻想的な景観を作ることで、過去の歴史と利根川への感謝の気持ちを再確認することを提案した。



「ペットに優しい町作り」

利根川にドッグランを作ろうというプラン。現代のペット人気と茨城県はペットを飼っている人が多いのにドッグランが少ないことを問題意識とした。高速道路からのアクセスの良さを生かし、都会に住む人が広大なスペースで犬を自由にさせてあげる喜びを味わうことができ、将来的にはペット愛好家の移住というビジョンも提案した。



関東・東北豪雨災害から1年

あの時の水害を教訓に

この夏も全国各地で台風による甚大な豪雨災害が発生しました。昨年9月の豪雨災害から1年。これまでに町が行ってきた防災対策と町の商店街の現状を報告します。

—みんなの命を守るために—
境町洪水ハザードマップを改訂



POINT
町外「坂東総合高校」に
広域避難所を新設
▲茨城県立坂東総合高等学校を
町外指定避難所に。写真は坂東市
との協定締結時(6月)

POINT
冠水時の通行止め、
通行可能だった道路を表示

災害への備えを忘れない

昨年9月の関東・東北豪雨災害では、大規模半壊家屋130件、半壊家屋116件、床下浸水247件の町史に残る甚大な被害が発生しました。

町を襲った水害を踏まえ、利根川氾濫を想定した洪水ハザードマップの改訂版を作成し、町内約8000世帯や公民館、集会所などに配布しました。改訂版では、豪雨により冠水して通行不能になった主要道路を赤色の矢印で、比較的安全な主要道路を緑色の矢印で明記し、今年6月に広域避難場所となった県立坂東総合高(坂東市)を表示しています。

鬼怒川の堤防が決壊したことで利根川流域にある境町でもいっそうの防災意識が高まる中、日頃の災害への備えとして、新しい洪水ハザードマップを役立ててください。



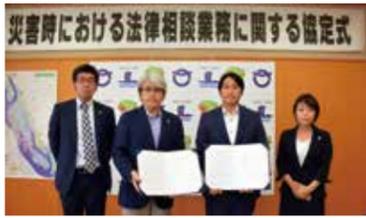
▲災害後発行された『広報さかい』
2015年9月・10月災害臨時合併号

防災報告
1

「災害協定」
町の防災対策を
強化するため
各種協定を締結

町は、県弁護士会と災害時の法律相談に関する協定を、県行政書士会と災害時の支援協力に関する協定を締結しました。この協定は、災害時に被災した個人や法人、その他団体に対して、無料の法律相談や行政書士業務を行い、被災者を支援するものです。

また、6月には洪水災害時の広域的な避難所を確保するために、坂東総合高校と広域避難に関する覚書を締結しています(写真10頁)。



▲茨城県弁護士会



▲茨城県行政書士会

防災報告
2

「防災功労者
内閣総理大臣
表彰受賞」
境町消防団の献身的な
貢献に感謝します

昨年9月の「関東・東北豪雨」の際、8日間にわたり昼夜を問わず、住民の救助や避難誘導などにあった功績が認められ、平成28年防災功労者内閣総理大臣表彰を境町消防団が受賞しました。



▲首相官邸記念写真



▲境町消防団長
加藤正則氏

防災功労者表彰は、茨城県、栃木県、宮城県、の18の消防団など、災害救助や地域の防災体制の整備などに貢献した個人や団体をたたえるもので、今年は4人と38の団体が表彰を受けました。

防災報告
3

「町の復興」
あれから1年…。完全復興に向けて

関東・東北豪雨の水害から1年。町は387ミリの記録的な雨水と宮戸川の決壊で甚大な被害を被り、町の商店街も大きな被害を受けました。完全な復興を目指し、創業60年以上続く「ながほり製菓」は頑張り続けています。

「くよくよしても仕方がないと、あれからずっとお饅頭などを手づくりして頑張ってきた。最近では、若いお客様も増えてきて、笑顔と元気を分け合っている毎日です」と話す、ご夫婦(康雄さん・菊江さん)。

今では、お得意様に加えて、新しいお客様も増えており、店の営業は完全復興に向けて順調に進んでいます。

これからもずっと、
手づくりで頑張ります



▶ながほり製菓(製菓業) 左から、康雄さん、和義さん、菊江さん

8/27

第4回建設ふれあい祭り in 境が開催

今年で4回目となる建設ふれあい祭り in 境（茨城県建設業協会境支部主催・新井孝支部長）が利根川河川敷で開催され、約1,200人の親子連れで賑わいました。

このイベントは、建設業界のイメージ向上などを目的に行われています。

参加者は、担当者から重機の説明を聞いたり、体験用のショベルローダーやブルドーザーなどの重機に乗り、イベントを楽しみました。

参加した子どもからは「大きな機械を動かすことができて楽しかった」「普段触れない重機を動かして、いい思い出になった。」などの声があげられました。



緊張した顔で重機に乗る子ども 高所作業車を体験する家族の様子



建設ふれあい祭り in 境の会場の様子

8/4

原子力災害における水戸市民の県内広域避難に関する協定を締結

この協定は日本原子力発電東海第2原発の過酷事故に備えた広域避難計画で、水戸市が、県南西9市町（つくば、古河、結城、下妻、常総、坂東、八千代、五霞、境）と、避難者受け入れに関する協定をつくば市役所で締結しました。

この協定には、水戸市民約10万人の受け入れや、避難所における物資供給などが盛り込まれています。

今後は、自治体ごとの避難人数や避難場所などさらに具体的な内容の調整を進めていきます。



つくば市役所で行われた締結式の様子

「原子力災害における水戸市民の
県内広域避難に関する協定」 締結式

8/30

境高校科学部が「シンカーズフェス2016」で全国優勝！

日本科学未来館（東京・お台場）において、10代の発表や開発能力などを競うイベント「THINKERS FES 2016」が開催され、全国からネット応募され、予選を勝ち抜いて決勝に残った各部門別の3グループが、研究成果のプレゼンテーションを披露しました。

このイベントの10代プレゼンコンテストの「リサーチ部門」に、県立境高等学校科学部から田中未来さん（2年）と、平山和也さん（2年）が出場しました。

境高校科学部では、3年前から測量器を使い根気よく土地の高さを測定し続けており、地域の小さな河川に着目して作成した洪水範囲を予測する「水害ハザードマップ」の最新の成果を披露して、見事優勝に輝きました。



▲境高校科学部2年の田中未来さん（写真左）と平山和也さん（写真右）

▶東京・お台場で開催された「シンカーズフェス2016」でのプレゼンテーションの様子

8/10

さしま茶をニジェルへ輸出

さしま茶協会（石山嘉之会長）が、西アフリカのニジェルに茶葉を輸出することになりました。同国への支援に取り組む一般社団法人「コモ・ニジェル」（守谷市・福田英子代表理事）と連携して行っています。

このプロジェクトはニジェルと縁のあった福田理事が、お茶を飲む習慣があるニジェルで、安心しておいしい日本のお茶を飲んでほしいという強い思いから始まりました。

さしま茶協会では現地の好みに合わせて、香りの強い茶葉に仕上げ、約500キロを輸出し、10月中旬にはニジェルの店頭に並ぶ予定です。現地での販売はニジェル出身のイロ・カザ・イブラヒムさんが担当します。



写真左から福田代表理事、イロ・カザ・イブラヒムさん、石山会長

8/2.3

さかい元気っ子クラブ～シーサイドキャンプ～（千葉県富津市）



町内の小学校の5・6年生を対象に、夢を持ったたくましい子どもを地域で育てることを目的とした「さかい元気っ子クラブ」では、千葉県富津市宮キャンプ場において、シーサイドキャンプを実施しました。活動期間中は当日朝の雨もあがり、鋸山・日本寺ハイキングや海水浴、潮干狩りを楽しみました。参加した82名（5年生）の子どもたちは、日常生活では経験することのできない野外炊飯やテント生活を体験し、一段とたくましくなりました。

長田小学校 5年
菊池 愛彩さん

8月2日から千葉県富津市にキャンプに行きました。私は、テントで寝るのが初めてでした。1日目のカレー作りや、2日目のバーベキューや海水浴など高校生と写真をとったり、ワカメを巻きつけてみたり、泥を投げあったりして遊んでくれました。

初めてのことをして楽しい3日間で、とても大きい思い出になりました。

坂東総合高校 3年
高校生会 CROVER
関口 菜由さん

キャンプのボランティアは初めてで、子ども達をまとめられるかとても不安でしたが、一生懸命に活動しようと決めました。初日は、戸惑うこともありましたが、高校生会のメンバーで話し合い、2日目以降は積極的に行動し、クラブ生達に楽しんでもらうことができました。私自身も多くの経験をさせていただき、高校生会メンバーの結束力を高めることができました。

8/20

第34回スポーツ大会開催～繰り広げられる真夏の熱戦～



真夏の厳しい暑さが続く8月21日（日）、第35回境町少年スポーツ大会が、町民体育館で開催され、各行政区から36チームが参加し熱戦が繰り広げられました。

この大会は、小学生の心身の健全育成を図り、行政区間の交流や親睦を深めることを目的として、境町スポーツ協力委員会と境町教育委員会が主催する綱引き大会です。

— 大会結果 —

優勝
陽光台 A チーム準優勝
松岡町1区 B チーム第3位
住吉町 B チーム第3位
塚崎2区 B チーム



境町体育協会 50周年記念事業

プロゴルファー・2008年賞金女王

古閑美保講演会



2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて

～夢を叶える気持ちの作り方～

10月23日(日)

13:00～ 記念式典

14:30～ 古閑美保記念講演会

会場： 境町中央公民館 入場無料

どなたでもご参加いただけます

こが みほ 古閑 美保

熊本生まれ。幼少の頃は野球部に在籍し将来の夢はプロ野球選手と活発な女の子だった。ゴルフは小学5年生の10歳の頃から始め、中学時にはアマチュアの大会でも優勝するなど好成績を収める。2001年にプロテスト一発合格を果たし、2003年「ヨネックスレディスゴルフトーナメント」で初優勝、2008年はツアー4勝、最終戦の奇跡的な逆転勝利で初の賞金女王に輝く！人気・実力を兼ね備える美人女子ゴルファーの代表格であったが、2011年にツアープロを引退。

現在はゴルフのラウンド解説やトークショー等へのイベント出演等を中心に活動。数多くのバラエティ番組に出演するなど、ゴルフ以外でも様々な活動が期待される。



《主催》境町体育協会 《問合せ先》境町教育委員会生涯学習課社会体育係 ☎87-0498

町の人口と世帯数 ※平成28年9月1日現在の常住人口（前月比）

■総人口 24,493人 (+11) ■男性 12,261人 (+3) ■女性 12,232人 (+8) ■世帯数 8,358世帯 (+22)

■発行所/境町役場 〒306-0495 茨城県猿島郡境町391-1 Tel.0280-81-1329 ■編集/秘書広聴課 ■発行日/平成28年9月15日
■境町ホームページ <http://www.town.sakai.ibaraki.jp/>